令和3年度シラバス　理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
日常生活活動学Ⅱ	講義・演習	堂脇　ゆかり	
時間数（単位数）	**授業回数**	**年次**	**開講時期**
30　時間　（　1　単位）	15　回	2　年次	後期

授業の目的・概要

リハビリテーション医学の中で日常生活活動（ＡＤＬ）は大きな領域をしめる。リハビリテーションチームの一員である理学療法士として、活動の視点から障害を捉えていく。後期では、ＡＤＬ各論として各疾患別のＡＤＬの特徴、指導について学習する。

授業の到達目標

1. 片麻痺患者のＡＤＬの特徴について説明できる。
2. ＲＡ患者のＡＤＬの特徴について説明できる。
5. 脊髄損傷のＡＤＬの特徴について説明できる。
7. その他の疾患のＡＤＬの特徴について説明できる。
2. 片麻痺患者の基本動作などの指導・介助法を実施できる。
4. ＲＡ患者の基本動作などの指導・介助法を実施できる。
6. 脊髄損傷の基本動作などの指導・介助法を実施できる。
8. その他の疾患の基本動作などの指導・介助法を実施できる。

授業計画

回	内容
1	ＡＤＬ評価　セルフケアについて
2	セルフケア　基本動作について
3	基本動作
4	ＲＡのＡＤＬ①　特徴
5	ＲＡのＡＤＬ②　指導
6	片麻痺のＡＤＬ①　特徴
7	片麻痺のＡＤＬ②　演習
8	片麻痺のＡＤＬ③　演習
9	脊髄損傷のＡＤＬ①　特徴
10	脊髄損傷のＡＤＬ②　指導
11	脊髄損傷のＡＤＬ③　演習
12	視覚障害者のＡＤＬ　演習
13	その他の疾患のＡＤＬ①
14	その他の疾患のＡＤＬ②
15	まとめ

成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	70%	
レポート	20%	
小テスト		
平常点	10%	
その他		
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
標準理学療法学専門分野　日常生活活動・生活環境学	鶴見隆正・隆島研吾編集	医学書院
自由記載		

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		

備考